

比較表 (EX.大玉トマト)

	従来の水耕	GMFプラント「とり」
収量	最大20数ton/反	定植を12株/坪として 12株×0.2kg(果重)×4個×4段×3作 ×300坪=34.56ton
誘引作業性	全体の作業量の3~4割	補助時の吊り下げのみで誘引作業なし
栽培面	高農技術が必要	簡単な管理技術
収穫作業	腰をかがめる作業	目の高さに収穫物、楽々作業
ハニートーン	採用を躊躇	株数が倍になり、採用のメリット大

M式水耕プラント採算資料【果菜】概要

【概略】

設置者氏名	
設置者住所	
プラント名	GMFプラント「とり」
栽培作物名	トマト
作型	年3作型 作付3セット型
面積	300坪
年間植付株数	10,800株/年作

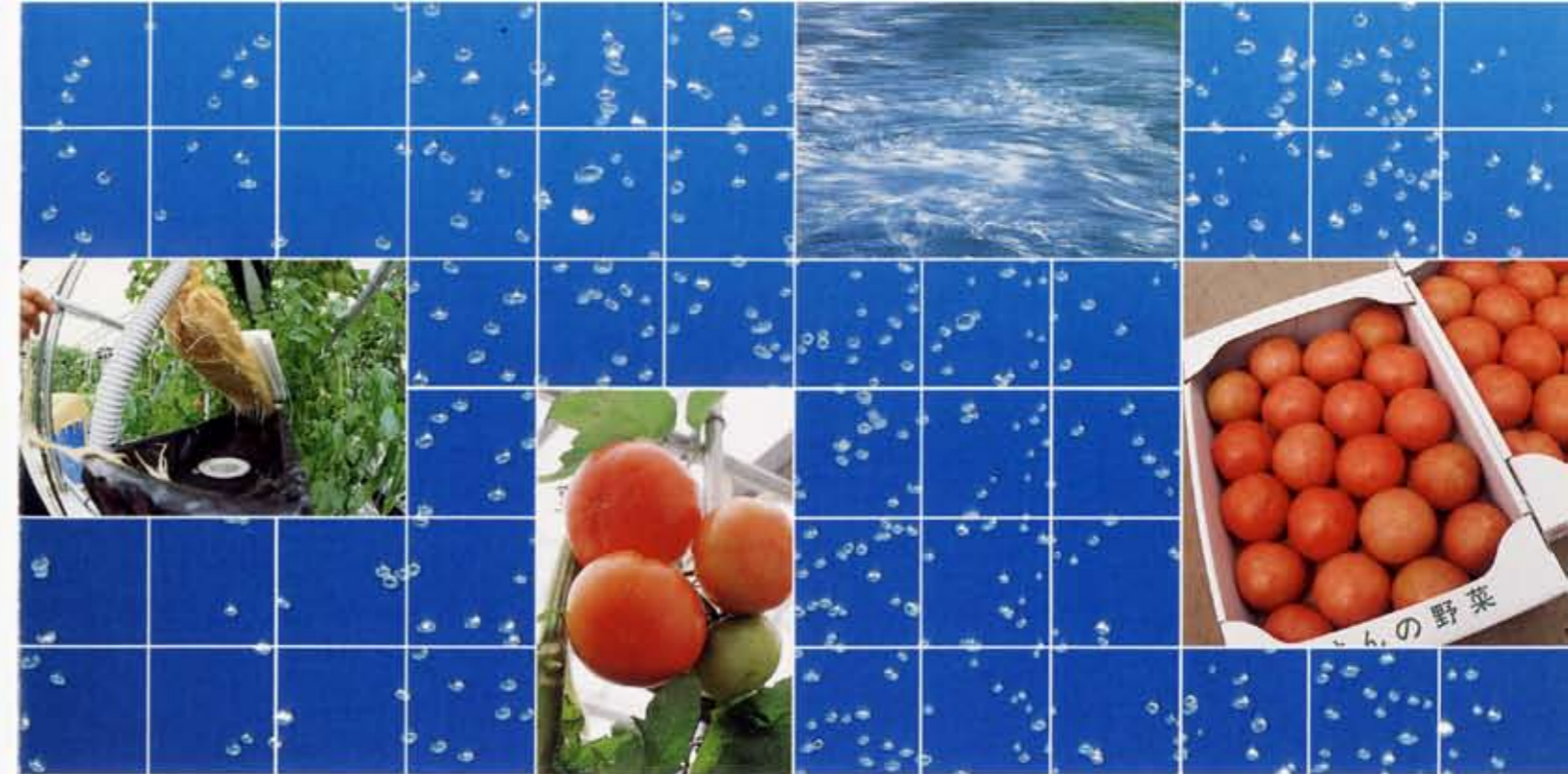
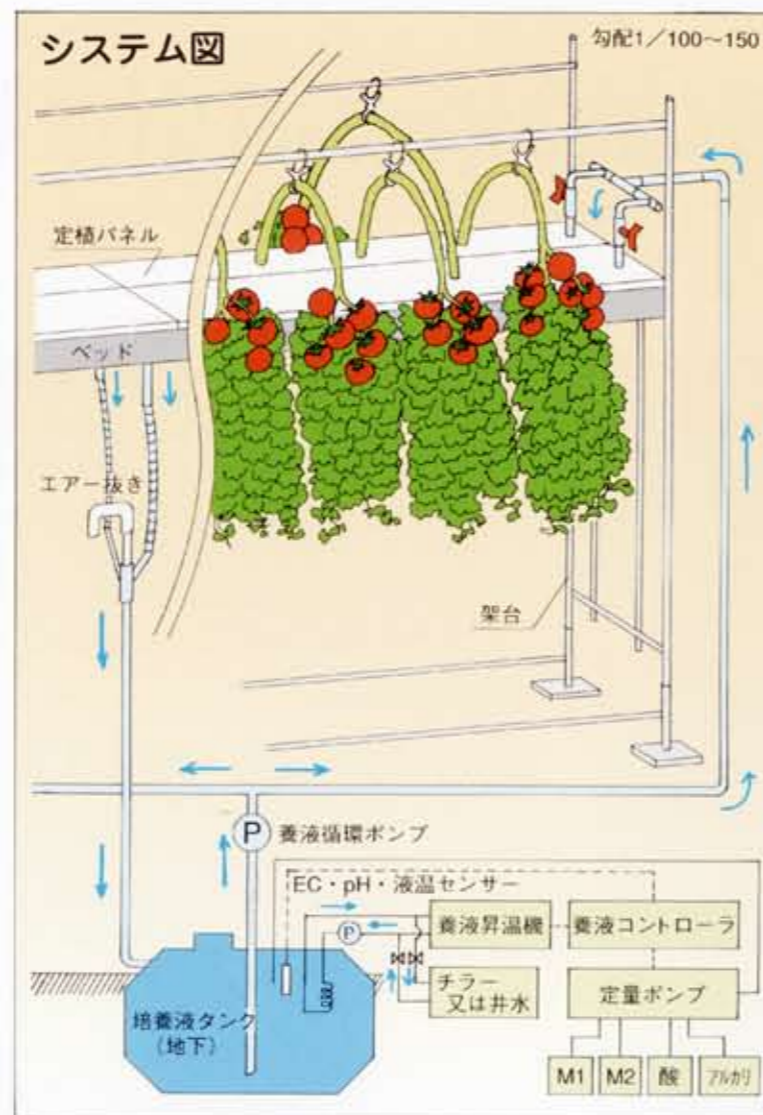
【収穫】

月	収穫量	平均単価
1月	2,800	300
2月	2,700	310
3月	3,000	290
4月	3,000	300
5月	3,200	290
6月	3,300	240
7月	2,500	270
8月	2,500	310
9月	2,500	250
10月	2,860	300
11月	2,900	310
12月	3,300	380
年間	34,560	

【収支】

売上高	10,253,000
種苗代	130,000
肥料代	510,816
水道代	125,000
電気代	624,587
燃料代	553,450
諸材料費	140,000
箱/バック代	576,000
諸材料費	36,840
運送料	576,000
手数料	881,392
人件費	2,250,000
減価償却費	2,363,239
借入金金利	
所得	1,485,666

(96年度)



省力・高品質・収量倍増で高収益!!

GMFプラント



トマト・トリプル栽培システム

●GMFプラント「とり」専用資材

<p>ベッド</p> <p>パネル</p> <p>給液パネル</p> <p>戻りベッド</p>	<p>配管資材</p>	<p>培養液タンク</p>	<p>養液循環ポンプ</p>
<p>養液コントローラ</p>	<p>養液昇温機</p>	<p>簡易播種器</p>	<p>M式専用肥料</p>
			<p>ゲタッポ</p>

※改良のため仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。※無断で、引用及び模倣されることはおこなわれません。

株式会社 **M式水耕研究所**

本社 東京都調布市中央1丁目37番1号 TEL:03-5471-1111 FAX:03-5471-1112

支社 東京都大田区北沢1丁目13番15号 TEL:03-5471-1111 FAX:03-5471-1112

ホームページアドレス: <http://www.gfm.co.jp> Eメールアドレス: info@gfm.co.jp

●お求め・お問合わせは…

デザイン 農業の世界!!

株式会社 **M式水耕研究所**

3つの栽培革命!!

①空中栽培②収量2倍③誘引なし



トマト・トリプル栽培システム



↑
収穫

育苗



定植



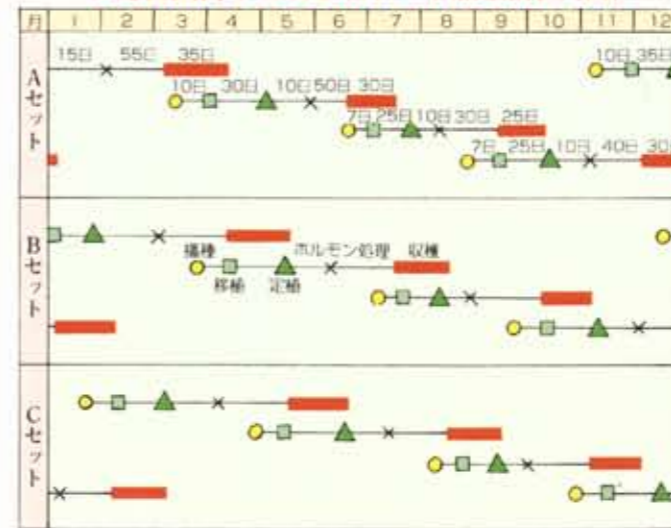
省力空中栽培でラクラク作業!!

基本的に、4段階による年間3作方式で、栽培技術面の大幅簡略化が実現しました。そしてM式の優れたコントローラにより、肥培管理・環境管理が簡単にできます。又、根が上部にある吊り下げ空中栽培のため、面倒な誘引作業がなくなり、収穫に至るまでの作業が立ったままできるなど栽培が非常にラクになりました。

周年栽培で画期的な高収量・高収益!!

ベッドに水平2連定植のため、1.5~2倍の植付株数になります。又、夏期は約70日間、冬期は室温12℃を保つとして100日以内となり、平均約90日として年4作が可能になります。育苗ハウス1セット・生産ハウス3セットを持つ事により、夢の年間周年栽培ができます。

★毎日出荷するためのトマト栽培計画(例)



育苗の低コスト・省力化を実現!!

M式育苗方式は、ウレタンに播種し、発芽後7~10日で、移植パネルに植えて、水耕育苗するので、密植育苗ができる。ロックウール育苗・鉢育苗場より格段の低コスト・省力化が図れます。

高品質トマト生産!!

果房あたりの成葉数が多く、果実に直射日光が豊富に当たるので、摘芯後の果実肥大が促進され、空洞果が少なく高品質なトマト生産ができます。



低農薬減農薬栽培!!

一作が短く樹勢が強い時期に収穫できるので、病害虫に対するリスクが少なく、低農薬減農薬栽培となり、大きなメリットがあります。

従来のトマト栽培(土耕・水耕)の大変さが分かるから、ご提案します。

(従来の栽培)

- ・土作りが難しく、育苗が大変。
- ・育苗の苗運びが重労働。
- ・肥培管理がうまくいかない。
- ・誘引作業は面倒で、重労働。
- ・栽培が難しく、儲からない。
- ・腰をかがめた作業が多い。
- ・日射量が少ないので、糖度が低い。
- ・空洞果が出て商品価値が低い...等々。

